

専門部会報告シート

部会名	相談・くらしの部会		報告回	令和5年度第3回全体会
委員 氏名		氏名	選出母体及び役職等	
	1	◎田中 研二	府中市社会福祉協議会 地域福祉部地域活動推進課 長補佐兼権利擁護課長補佐	
	2	○枕島 剛之	障害当事者	
	3	中川 さゆり	地域生活支援センタープラザ 施設長	
	4	原 郷史	地域生活支援センターふらっと センター長	
	5	麻生 千恵美	児童デイサービスめろでい 代表	
	6	藤田 亜弥	ケアチーム大芽 施設長	
	7	中村 弘子	府中市パーキンソン病友の会	
	8	高橋 史	府中市肢体不自由児者父母の会 会長	
	9	中村 嘉人	東京都立府中けやきの森学園 主任教諭	
	※部会長は◎、副部会長は○			
現状	府中市では、令和3年度より地域生活支援拠点等が整備されているが、前期に引き続き、整備の進行状況や実際の運用状況の把握・検証をしていく必要がある。また、地域課題の抽出及び解決に向けて協議される場として機能を高めていく必要がある。			
検討 テーマ (概要)	・「当事者の方がいつまでも地域で暮らしていけること」を検討テーマとし、令和5年度では、地域における障害のある方のニーズの把握、課題の整理を行う。			
取組 経過	【令和5年度の取組】 ・「地域で長く暮らしていくためには、何が必要であるか（今の生活に何があれば安心して暮らし続けられるか。）」を、重症心身障害のある当事者にアンケートやヒアリングを行い、対策を検討することとした。 ・今後のスケジュール状況により、重症心身障害者の方以外の障害者にもアンケートを実施できるか、検討する。 ・アンケートの結果から、障害当事者が地域で暮らしていくことに不安感を抱いていることが把握できた。このことから、府中市に不足しているグループホームや施設整備について、設置状況を確認する必要があると思われ、26市の係長会を通じて他市の取り組み状況を把握し、そのうえで、施設等が増加している先進的な取り組みを行っている市があるのか、あるのであれば府中市との比較を含め、視察やヒアリングを通して実態を把握することとした。 ・令和6年度の取組みの予定としては、ここまで調査・検討してきた重症心身障害者への施策のあり方をまとめ、先進他市の府中市との違いを際立たせつつ、府中市に参考となる点と、他市の状況から府中市には馴染まないであろう点を精査し、将来的な障害者の施策の参考となるべく、令和6年度末に提出の答申書にまとめていく。さらに、同様に支援に個別性が高い、強度行動障害の方への対応についても、他市へのヒアリング時に盛り込んで、状況を確認する方向である。			

検討
結果

1 重症心身障害当事者アンケートについて

(1) アンケートの考え方について

ア 基本的にはご本人、もしくはご本人の意向を勘案して回答できる第3者が回答することとする。

イ 性別など、センシティブな設問について時代を反映して言葉選びを行った。

(2) 対象者、方法などについて

ア 対象者

重症心身障害者（身体障害者1・2級、療育手帳1・2度を重複してお持ちの方）を対象に実施。

イ 方法

対象者に向けて郵送する。回答は、用紙か Web のどちらかを選択してもらう。

(3) アンケート結果について

ア 送付数177件、回答数97件、回答率55%。

イ 回答の年代は、0～10代が33件と最も多く、以降24件、24件、9件、3件、4件と年代が上がるに従い回答者は減少していた。

ウ 「将来暮らしたい場所」の設問に対しては、自宅43件、住み慣れた地域にある入所施設37件、住み慣れた地域にあるグループホーム26件が多く、場所を問わない入所施設、グループホームは、6件と2件で少なかった。

エ 集計結果として、多くの当事者（家族）は地域で暮らすことを望んでいるが、自由記載においては、主介護者である親の高齢化や、入所施設の少なさ、漠然とした将来への不安が見て取れた。そうした結果から、住み慣れた地域に施設等を整備する必要があるのではないか、との結果が見られ、近隣の26市（他市25市＋府中市）の状況を調査することとなる。

2 26市への施設整備に関する状況調査について

(1) 調査内容

市の障害福祉計画に、重症心身障害者を対象とした入所施設整備の計画があるか。また、その施設の種別（入所施設・グループホーム）。また、今後についての考え方等について、係長会議を通じて一斉に調査する。

(2) 26市のアンケート結果の共有

府中市以外の25市の回答から、直近（令和5年10月）に重症心身障害者のある方を対象とした、グループホームを整備した市と、その他3市ほどに先進的な回答結果が見られた。

	3 4市への見学・ヒアリングについて 集計の結果、先進的な取り組みが見られた4市について追加で、見学かヒアリングを実施することとする。4市の情報を委員各々で深掘りする。 視察やオンライン会議などを通じて、施設増設への方向性や、財源、受託法人の選定など、詳細を聞き取る。（1市を見学、3市をオンライン会議等で話を伺う予定）また、4市に対する質問項目の内容についてまとめる。		
会議開催状況と内容		日程	内容
	第1回	7月10日	・地域生活支援拠点等について ・地域におけるニーズの把握について
	第2回	8月30日	・重症心身障害当事者アンケートの設問について
	第3回	9月27日	・重症心身障害当事者アンケートの対象者、予定、手法、役割、その他について
	第4回	11月24日	・重症心身障害当事者アンケートの集計結果を基に今後の方向性を検討 ・都下で取り組んでいる先進的な市を参考とするため26市調査を行うこととする
	第5回	令和6年2月2日	・26市の施設アンケート集計結果の共有 ・先進的な取り組みが見られた4市を選定 ・令和6年度の部会の取り組み内容の検討
	第6回	令和6年2月26日	・4市への追加の質問内容と方法を検討 ・令和6年度のスケジュール確認